

記者発表資料

平成28年11月22日(火)
国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所
中日本高速道路株式会社東京支社
南アルプス工事事務所、清水工事事務所

中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC間)連絡調整会議(第2回) の開催結果について

本日開催した中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC間)連絡調整会議(第2回)の開催結果をお知らせします。

会議の概要は以下のとおりです。

<開催日時・場所>

平成28年11月22日(火) 10:00～11:00
山梨県庁 防災新館 402会議室

<議事のポイント>

- 工程を精査した結果、新たな開通時期については、以下のとおり。
 - ・新清水JCT～富沢IC、富沢IC～南部IC、下部温泉早川IC～六郷ICは、平成30年度開通の見通し。
 - ・南部IC～下部温泉早川ICは、平成31年度開通の見通し。
- 富沢IC～六郷ICでは、課題に対する追加対策等の実施により、全体事業費が600億円の増額となる見込み。

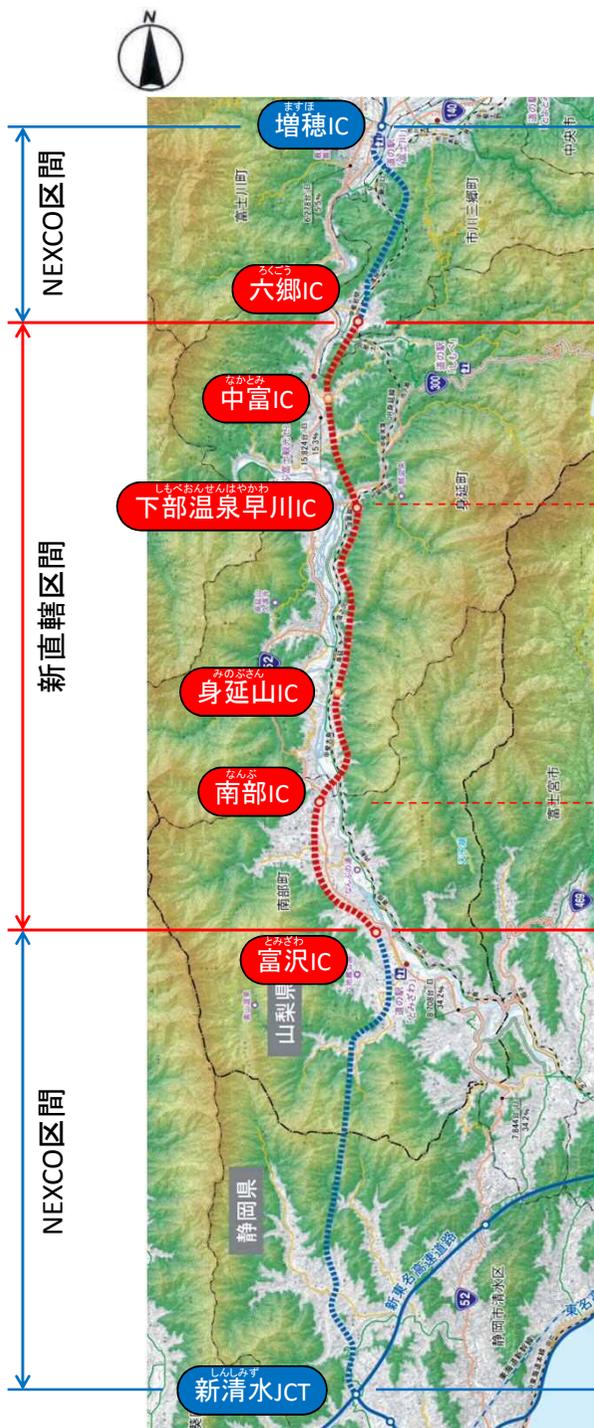
発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 電話055-252-5491
副所長(道路) 近藤 進(コドウ ススム) 計画課長 宮川英明(ミヤガワ ヒデアキ)
中日本高速道路株式会社 東京支社 南アルプス工事事務所 電話055-283-8888
工務課長 山下直樹(ヤマシタ ナオキ)
中日本高速道路株式会社 東京支社 清水工事事務所 電話054-371-0550
工務課長 山岸将人(ヤマギシ マサト)

中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC)の工程について



	現状の開通見通し	新たな開通見通し	備考
NEXCO区間 (Masuho IC ~ Rokko IC)	H28年度開通	H28年度開通	
新直轄区間 (Rokko IC ~ Tomizawa IC)	開通時期については、 検討が必要	H30年度開通	
新直轄区間 (Tomizawa IC ~ Nanbu IC)		H31年度開通	※トンネルの進捗が順調な場合
新直轄区間 (Nanbu IC ~ Tomizawa IC)		H30年度開通	※トンネルの進捗が順調な場合
NEXCO区間 (Tomizawa IC ~ Shinshizu JCT)		H30年度開通	

中部横断自動車道(新清水JCT～増穂IC間)連絡調整会議(第2回)

説明資料

平成28年11月22日

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所
中日本高速道路株式会社東京支社
清水工事事務所
南アルプス工事事務所

新清水JCT～増穂IC間の状況 (平成28年9月末時点)

- ・ 本線用地は、新清水JCT～富沢IC間は、約99%取得済み。富沢IC～増穂IC間は、100%取得済み。
- ・ 事業中区間の全延長約58.3kmのうち、トンネル延長が約6割、橋梁延長が約2割。
- ・ トンネル30本(延長約32.6km)の全てに工事着手。約2割が掘削未了。
- ・ 橋梁58橋のうち、35橋が未完成。



事業担当区間	新清水JCT～山梨県境	静岡県境～富沢IC	富沢IC～六郷IC	六郷IC～増穂IC
担当工事事務所	NEXCO中日本 清水工事事務所	NEXCO中日本 南アルプス工事事務所	国土交通省 甲府河川国道事務所	NEXCO中日本 南アルプス工事事務所



① 樽峠トンネル



② 富士川第一橋



③ 椿根第三トンネル



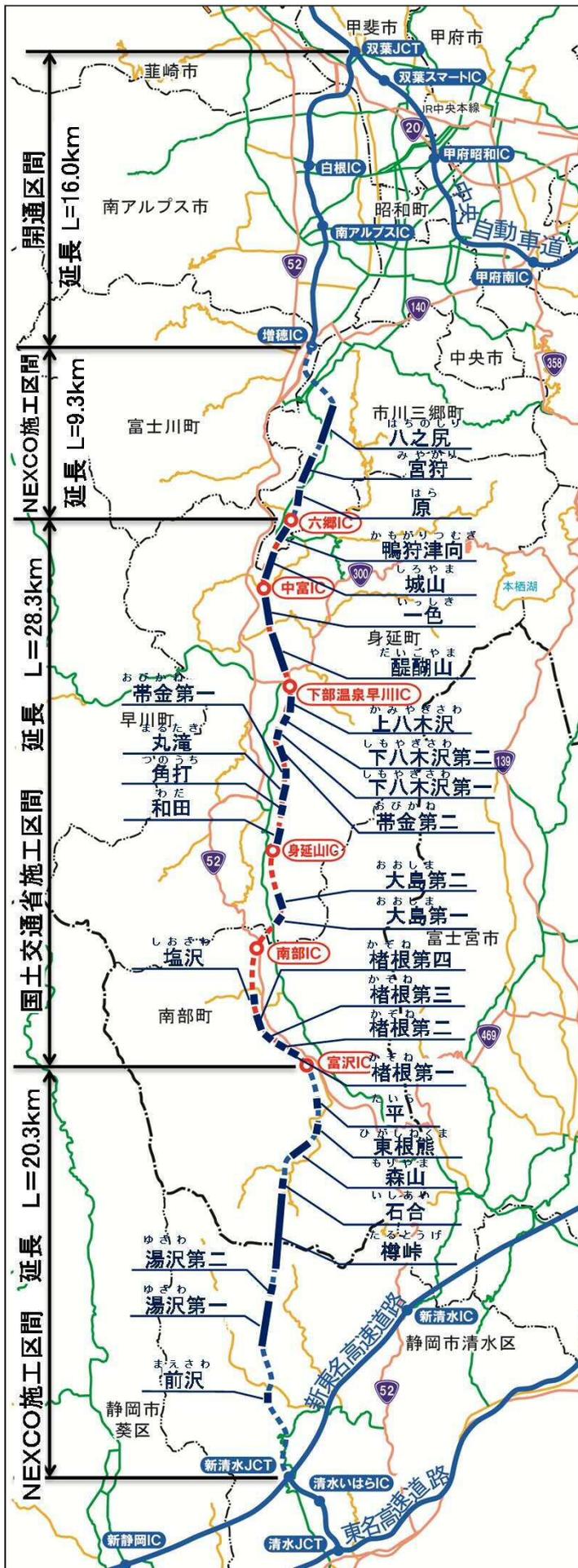
④ 和田トンネル



⑤ 上八木沢トンネル
 ※トンネル・橋梁名称は仮称です。

中部横断自動車道(富沢IC~六郷IC)事業費見直し(2004億円→2604億円【+600億円】)

■全体位置図



■事業費見直し内容

建設発生土の処理に伴う増額<+190億円>

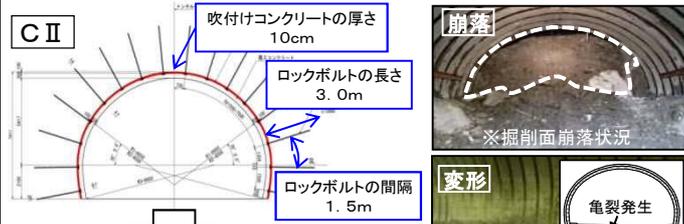
重金属を含む掘削土の封じ込め構造の見直し及び発生土量の増加に伴う処分先の追加による増(15トンネル)



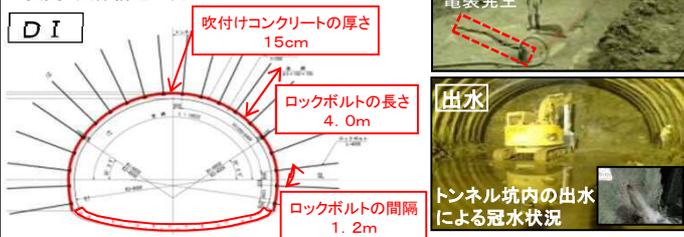
トンネル支保構造・補助工法の変更に伴う増額<+350億円>

想定以上に脆い地盤によるトンネル掘削時の補助工法の追加、トンネル構造の見直し及びトンネル掘削中の湧水発生に伴う処理対策の追加による増(17トンネル)

<当初 支保構造の例>



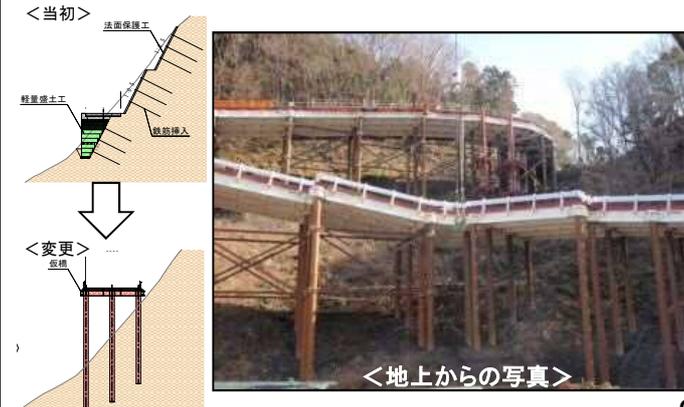
<変更 支保構造の例>



工事用道路の構造見直しに伴う増額<+60億円>

急峻で地盤の脆い地区における工事用道路を切土・盛土構造から仮橋形式に変更したことによる増(3箇所)

■工事用道路の構造変更

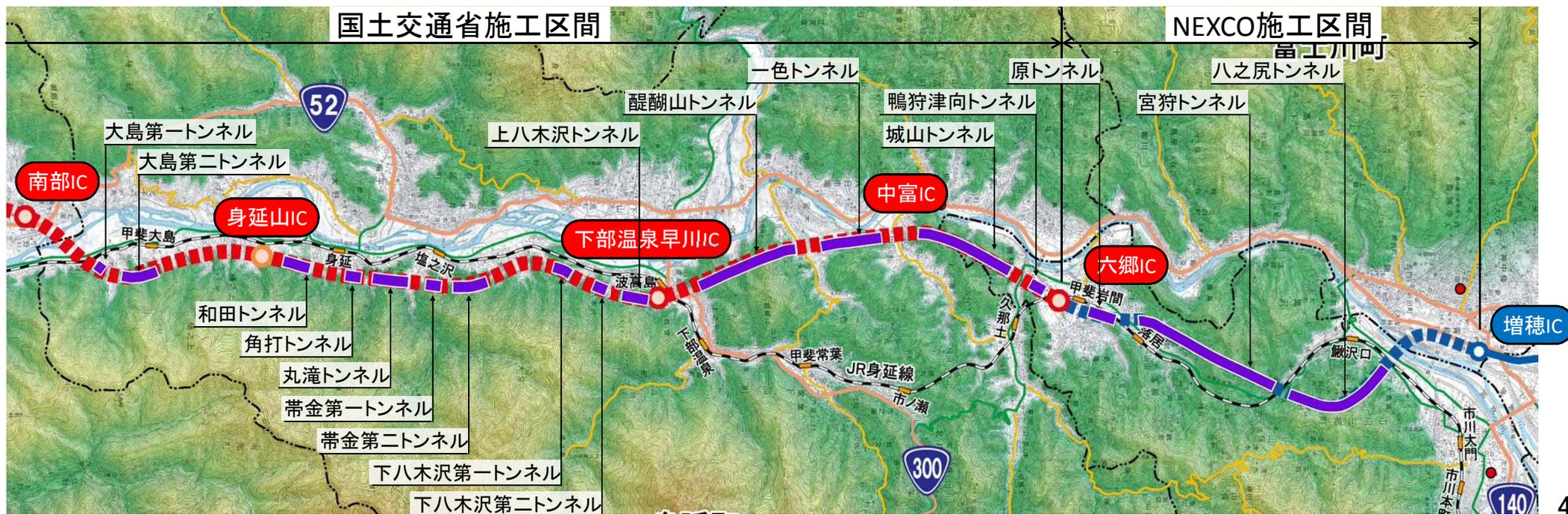


■全30トンネルで発生している難航事象

IC・JCT 位置	トンネル名	延長 (m)	掘削長 ^(m)	崩落	断面 変形	湧水	重金属
			H28.9末				
新清水JCT							
	前沢	682	682				
	湯沢第一	2,295	2,295				●
	湯沢第二	199	199				●
	樽峠	4,999	4,326	●	●		●
	石合	509	0				
	森山	1,734	705				●
	東根熊	766	724				●
	平	506	0				
富沢IC							
	楮根第一	380	196	●		●	●
	楮根第二	131	131	●			●
	楮根第三	165	165	●	●		●
	楮根第四	1,852	1,083	●		●	●
	塩沢	649	125	●	●		●
南部IC							
	大島第一	211	211	●			
	大島第二	902	118	●		●	●
身延山IC							
	和田	731	731	●			●
	角打	310	151				
	丸滝	925	899				
	帯金第一	267	154	●		●	
	帯金第二	856	245	●			●
	下八木沢第一	399	0				
	下八木沢第二	284	90	●			●
	上八木沢	672	574	●		●	●
下部温泉早川IC							
	醍醐山	2,410	2,410	●			●
	一色	1,275	980	●		●	●
中富IC							
	城山	2,087	1,428	●	●		●
	鴨狩津向	355	355	●		●	●
六郷IC							
	原	751	751	●	●		●
	宮狩	2,892	2,892		●		●
	八之尻	2,469	2,469	●	●		●
増穂IC							

※トンネル名称は仮称です。

中部横断自動車道(新清水JCT~増穂IC)トンネル位置図



※トンネル名称は仮称です。

中部横断自動車道（新清水 JCT～増穂 IC 間）連絡調整会議（第 2 回）
議事概要

1. 日時

平成 28 年 11 月 22 日（火） 10:00～11:00

2. 出席者

山梨県	県土整備部長	大久保 勝徳	
静岡県	交通基盤部長	村松 篤	（代理）
静岡市	建設局長	山本 祐司	
南部町	建設課長	若林 邦治	
身延町	建設課長	水上 武正	
早川町	振興課長	藤本 勝	（代理）
市川三郷町	土木整備課長	塩澤 正也	
富士川町	都市整備課長	内田 一志	
国土交通省関東地方整備局	甲府河川国道事務所	事務所長	尾松 智
国土交通省中部地方整備局	静岡国道事務所	事務所長	前川 利聡（代理）
中日本高速道路株式会社東京支社	南アルプス工事事務所	事務所長	土屋 俊幸
中日本高速道路株式会社東京支社	清水工事事務所	事務所長	岩立 次郎

3. 議事

- （1）工事の進捗状況と工程精査の結果について
- （2）意見交換

4. 議事概要

（事業者より説明）

- 想定以上に脆い地盤でのトンネル掘削、掘削土に含まれる自然由来の重金属の処理等、課題を有する工事箇所が点在しており、開通予定時期の見直しが必要となった。
 - ⇒トンネル掘削にあたっては、施工時及び開通後の安全性に配慮し、地盤の崩落防止対策やトンネル構造を強化する追加対策を実施。
 - ⇒重金属土の処理については、処分先確保等の状況を踏まえ、安全対策に万全を期した施工を実施。
- これらの課題に対する追加対策等を踏まえて、工程を精査した結果、新たな開通時期の見直しについては、以下のとおり。
 - ①新清水 JCT～富沢 IC、富沢 IC～南部 IC、下部温泉早川 IC～六郷 IC は、平成 30 年度開通の見直し。
 - ②南部 IC～下部温泉早川 IC は、平成 31 年度開通の見直し。
- ただし、富沢 IC～南部 IC、南部 IC～下部温泉早川 IC は、トンネルの進捗が順調な場合。
- また、富沢 IC～六郷 IC では、これらの課題に対する追加対策等により、全体事業費が約 600 億円の増額となる見込み。
- 引き続き、各自治体の協力を頂きながら、一日も早い開通に向けて事業を推進していきたい。

（意見交換）

- 山梨県より、開通時期の延期及び事業費の増額については、難工事に伴う技術的な理由であることから理解する旨のコメント。
- 沿線自治体より、当該区間の一日も早い完成に向け努力するよう意見が出されるとともに、引き続き、種々の課題について、関係者と共有しつつ、工事用車両の通行に伴う地元調整など、地元として協力していく旨が表明される。